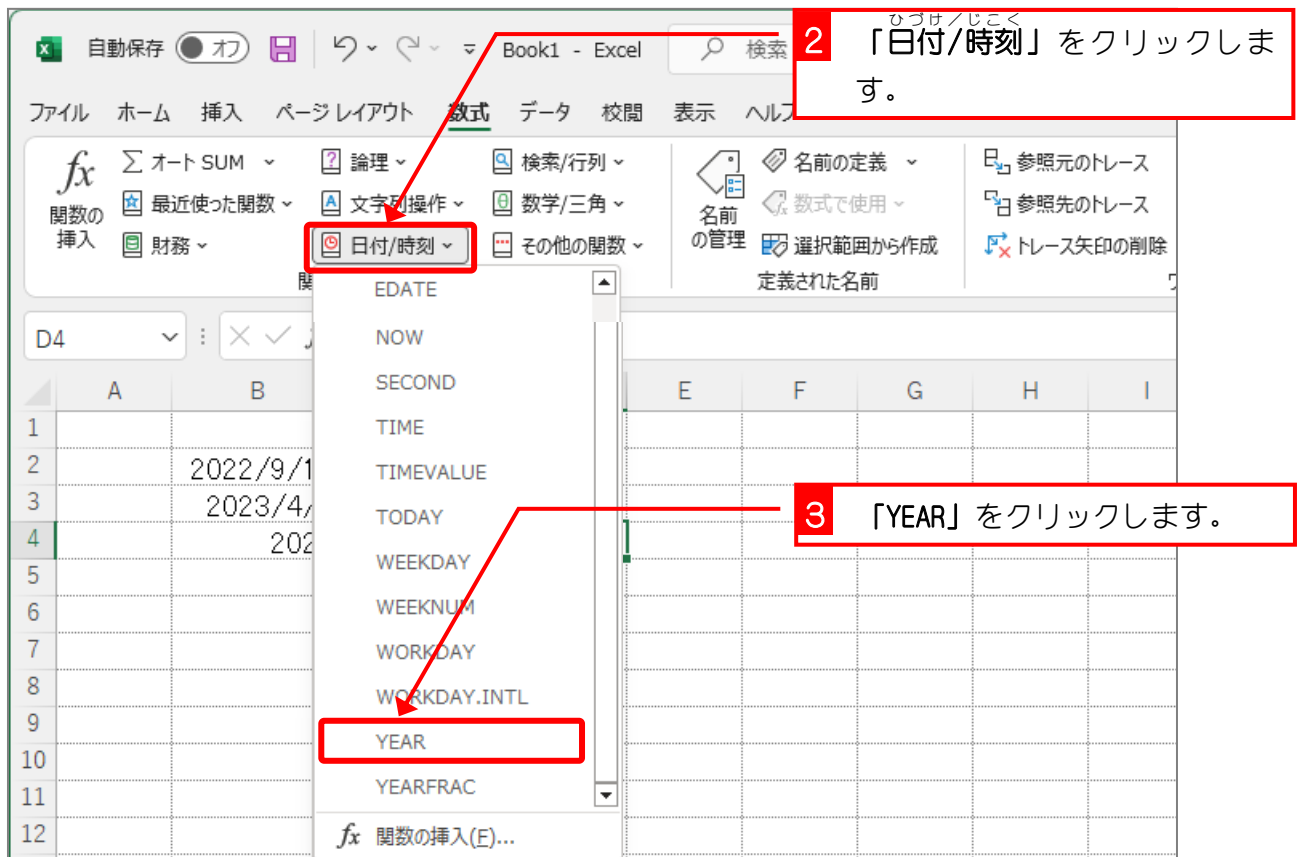
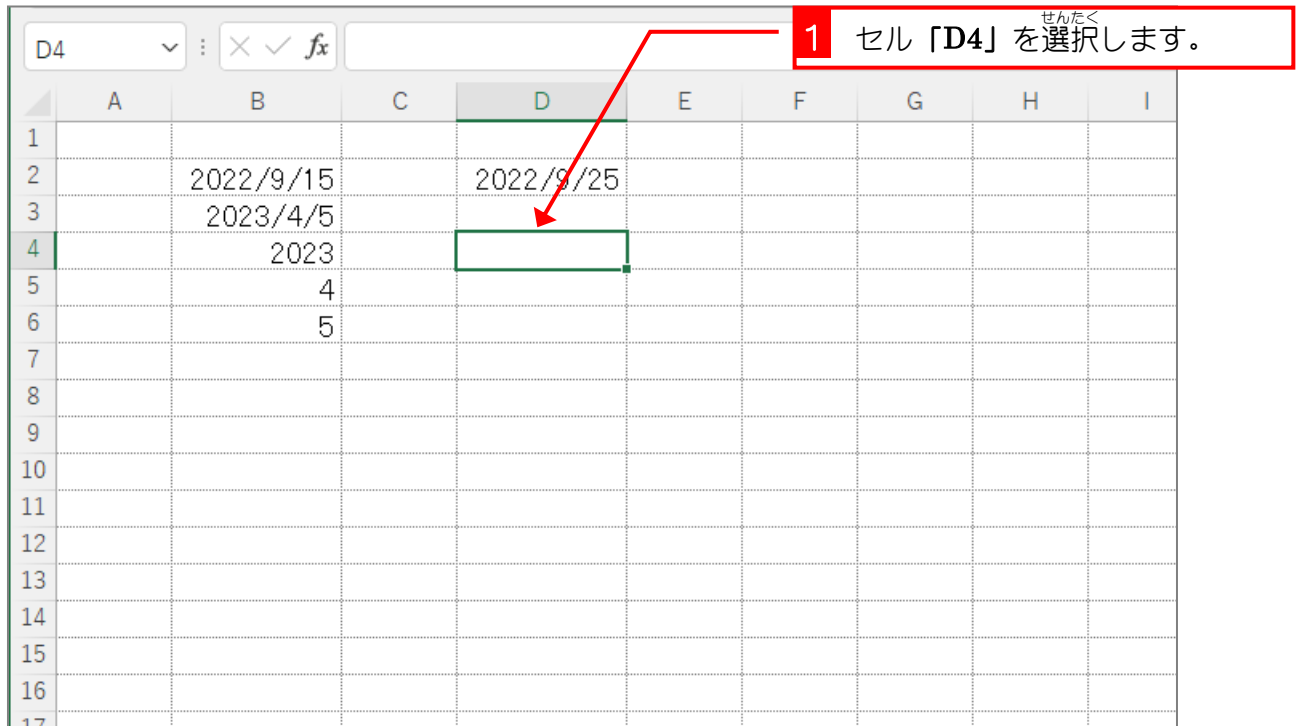


STEP 5. 2つの関数を組み合わせる

- セル「D4」に TODAY関数と YEAR関数を使い、今日の
日付の西暦を表示しましょう



関数の引数

YEAR

シリアル値 | = 数値

年を 1900 ~ 9999 の範囲の整数で返します。

シリアル値 には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

今日の日付の西暦を表示するには YEAR 関数の引数に TODAY() を指定します。シリアル値の枠に直接「TODAY()」と入力してもかまいませんが、「名前ボックス」を使って入力してみましょう。

4 **名前ボックスの** ∇ **をクリックします。**

YEAR ∇ : =YEAR()

YEAR

DAY

MONTH

TODAY

SUM

AVERAGE

IF

HYPERLINK

COUNT

MAX

その他の関...

5 「TODAY」をクリックします。

TODAY : fx =YEAR(TODAY())

C D H I

1 2022/9/25

3 AY()

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

TODAY関数の引数を入力する画面(ダイアログボックス)に変わりました。

YEAR関数の引数に「TODAY()」が入力されました。

現在の日付を表すシリアル値 (Excel で日付や時刻の計算で使用されるコード) を返します。
この関数には引数は必要ありません。

数式の結果 = 可変

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

6 「OK」をクリックします。

解説 関数の引数に関数を指定する

YEAR(TODAY())

これは TODAY関数で得た今日の日付を YEAR関数の引数として使用しています。
この例のように関数の引数に関数を指定することができます。

D4 : fx =YEAR(TODAY())

A B C D E H I

1

2 2022/9/15 2022/9/25

3 2023/4/5

4 2023 2022

5 4

6 5

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

今日の日付の西暦が表示されました。

「関数ライブラリ」を使って入力しましたが、キーボードから直接「=YEAR(TODAY())」と打ち込んでかまいません。

2. セル「D4」を今日の日付から 100日後の西暦を表示する
ように変更しましょう

1 「関数の挿入」をクリックします。

すうしき
数式バーにある **fx** をクリックしてもかまいません。

関数ライブラリ

fx =YEAR(TODAY())

	A	B	C	D	E	F
1						
2		2022/9/15		2022/9/25		
3		2023/4/5				
4		2023		2022		
5		4				
6		5				
7						
8						
9						
10						

2 「TODAY()」の後ろをクリックします。

関数の引数

YEAR

シリアル値 **TODAY()** = 可変

年を 1900 ~ 9999 の範囲の整数で返します。

シリアル値 には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定します。

数式の結果 = 可変

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

	A	B	C	D	E
1					
2		2022/9/15		2022/9/25	
3		2023/4/5			
4		2023		TODAY()	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

TODAY : =YEAR(TODAY()+100)

3 「TODAY()+100」に変更します。

TODAY()+100

	A	B	C	D	E	F
1						
2		2022/9/15		2022/9/25		
3		2023/4/5				
4		2023		100)		

関数の引数

YEAR

シリアル値 TODAY()+100 = 可変

= 可変

年を 1900 ~ 9999 の範囲の整数で返します。

シリアル値 には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定します。

数式の結果 = 可変

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

4 「OK」をクリックします。

D4 : =YEAR(TODAY()+100)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		2022/9/15		2022/9/25					
3		2023/4/5							
4		2023		2022					
5		4							
6		5							

今日の日付の 100日後
の西暦が表示されました。

3. セル「D4」を今日の日付から 100日後の月を表示するように変更しましょう

セル「D4」の YEAR関数を MONTH関数に置き換えましょう。

1 数式バーの「YEAR」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		2022/9/15		2022/9/25					
3		2023/4/5							
4		2023		2022					
5		4							
6		5							
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									

2 「日付/時刻」をクリックします。

3 「MONTH」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		2022/9/15							
3		2023/4/5							
4		2023							
5		4							
6		5							
7									
8									
9									
10									
11									
12									

MONTH : =MONTH(TODAY()+100)

YEAR が MONTH に
か
変わりました。

	C	D	E	F	G	H	I
1							
2		2022/9/25					
3							
4	2023		100)				

関数の引数 MONTH

シリアル値 TODAY()+100 = 可変

= 可変

月を 1 (1 月) ~ 12 (12 月) の範囲の整数で返します。

シリアル値 には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定し

数式の結果 = 可変

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

4 「OK」をクリックしま
す。

D4 : =MONTH(TODAY()+100)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		2022/9/15		2022/9/25					
3		2023/4/5							
4		2023		12					
5		4							
6		5							

きょう ひつげ にちご
今日の日付の 100日後
つき ひょうじ
の月が表示されまし
た。

STEP 6. とし 年、つき 月、ひ 日から日付を作る ひづけ DATE (デイト)

1. シートを用意しよう ようい

1 あたら 新しいシートをクリックして「Sheet2」をひょうじ表示し、シートのフォントを「MS Pゴシック」フォントサイズを「14」にします。

2 データをにゅうりょく入力します。

2. セル「D2」に、セル「B2」～「B4」の値をあたもとにした日付を作りましょう ひづけ

1 セル「D2」をせんたく選択します。

2 「数式」をクリックします。

3 「日付/時刻」をクリックします。

4 「DATE」をクリックします。

	A	B
1		
2	年	2023
3	月	4
4	日	13
5		
6		
7		
8		
9		
10		

5 セル「B2」をクリックします。

6 月の枠をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	年	2023		B2)						
3	月	4								
4	日	13								
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										

関数の引数

DATE

年 B2 = 2023

月 = 数値

日 = 数値

Microsoft Excel の日付/時刻コードで指定した日付を表す数値を返します。

年 には 1900 または 1904 (ブックの日付システムに応じて異なる) から 9999 までの数値を指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

B3 : fx =DATE(B2,B3)

7 セル「B3」をクリックします。

8 ^{にち}_{わく} 日の枠をクリックします。

1 年 2023

2 月 4

3 日 13

関数の引数

DATE

年 B2 = 2023

月 B3 = 4

日 = 数値

Microsoft Excel の日付/時刻コードで指定した日付を表す数値を返します。

月 には月を表す数値 (1~12) を指定します。

数式の結果 =

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

B4 : fx =DATE(B2,B3,B4)

9 セル「B4」をクリックします。

「年」「月」「日」の引数が指定できました。

1 年 2023

2 月 4

3 日 13

関数の引数

DATE

年 B2 = 2023

月 B3 = 4

日 B4 = 13

= 45029

Microsoft Excel の日付/時刻コードで指定した日付を表す数値を返します。

日 には日を表す数値 (1 ~ 31) を指定します。

数式の結果 = 45029

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

10 「OK」をクリックします。